

## 第24期第2四半期累計期間の業績のご報告 (2019年7月1日～2019年12月31日)

2020年 3月 吉日  
日本システムバンク株式会社  
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第2四半期累計期間における経済環境は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、穏やかに回復しております。先行きについては、各種政策の効果もあって穏やかな回復が期待されるものの、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響など、先行きは不透明な状況となっております。

駐車場業界におきましては、慢性的な駐車場不足により都市部を中心として高い駐車場需要はあるものの、訪日外国人の増加による宿泊需要の高まりを受け、既存駐車場の宿泊施設への転用や土地の賃借料の高騰など、厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社は「将来に亘っての成長」及び「安定した経営基盤づくり」に努めて参りました。営業面においては、駐車場の付加価値向上を図るべく、スマートフォンでの駐車場の検索から利用料金の決済可能なサービス「SmooPA」の普及に注力致しました。また、財務面においては、新規駐車場の開発拡大及び競合他社との差別化を目指したシステム投資に備え、新規に資金調達を実施致しました。

上記のほか、直営駐車場の新規開設及び駐車場の需給バランスを考慮した料金変更を継続的に実施して既存駐車場の収益向上に努めた結果、コインパーキング事業における売上高は3,225,171千円となりました。

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、稼働率の向上に注力致しました結果、売上高は111,207千円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,340,519千円(前年同期比8%増)となりました。

| 事業区別          | 金額          | 前年同期比 |
|---------------|-------------|-------|
| コインパーキング事業    | 3,225,171千円 | 109%  |
| プロパティマネジメント事業 | 111,207千円   | 96%   |
| その他           | 4,139千円     | 79%   |
| 計             | 3,340,519千円 | 108%  |